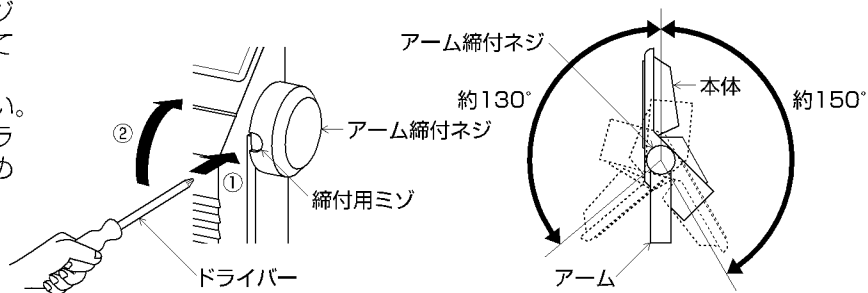


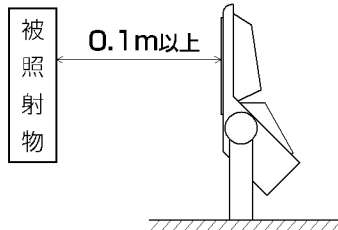
■照射方向の調節について

- 照射方向を調節する場合はアーム締付ネジをゆるめてから、アームを持って行なってください。
- 指定範囲以上無理に動かさないでください。
- 調節後、アーム締付ネジを締め付け、ドライバーを締付用ミゾに差し込んで強く締め付けてください。



■照射距離について

- 照射距離により被照射面が変色・変質するおそれがあります。被照射面との距離は0.1m以上離してください。



！ 器具の取外しは工事店・電器店に依頼してください。→感電の原因になります。

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。器具と音響製品を離してご使用ください。

■LEDユニットについて

- 明るさが70%になるまで平均約60000時間です。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラツキがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- LEDの短寿命の恐れがあるため、直接日光が当たる時間帯は点灯しないでください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布か薄めた中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。また、薄めた中性洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

KOIZUMI コイズミ照明器具

施工取扱説明書

型番 XU39139L・XU39140L・XU39141L・XU39142L・XU39143L
XU39144L・XU39145L・XU39146L

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

保存用

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

【安全上のご注意】

！ 警 告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。→器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。→感電・故障の原因になります。
	この器具は防雨型です。浴室・サウナ風呂などの高温多湿な場所では使用できません。→火災・感電の原因になります。		器具を布や紙などでおおって使用しないでください。→火災の原因になります。
禁止	この器具は耐塩仕様ではありません。塩害が発生する可能性のある地域では使用しないでください。→早期に錆、腐食などが生じ、落下によるけが・感電・故障の原因になります。	アース工事	前面カバーが高温になりますので人が容易に触れる恐れのある場所では使用しないでください。→やけどの原因になります。
	このような場所には取付けないでください。この器具は天井・壁・直置取付可能器具です。不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。		アース端子(線)がついている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行ってください。→アースが不完全な場合、感電の原因になります。
分解禁止	 不安定な場所 補強のない場所 浸水のおそれがある場所 草木などが成長しておおわれそうな場所	！ 厳守	器具と被照射面の距離は器具表示および説明書に従って、ドア開閉範囲や家具などの可燃物が近づかないように取付けてください。→照射距離が制限より近すぎると被照射物の変質・変色または焼損による火災の原因になります。
			表示された電源電圧(AC100V/240V/242V)以外の電源で使用しないでください。→火災・感電の原因になります。
！ 厳守	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。→火災・感電・落下によるけがの原因になります。	！ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。→放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。

！ 注 意		この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。	
！ 禁止	点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らないでください。→やけどの原因になります。	禁止	ガス機器など、温度が高くなるものの近くへの取付けや、器具の下にストーブなどの高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。→火災の原因になります。
	ライトコントローラなどの調光器との併用はできません。→火災の原因になります。調光器の取外しが必要です。調光器の取外しには資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。		照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。→放置すると、火災・感電・故障の原因になります。

保証とアフターサービスについて	
保証について	修理を依頼されるとき
・この照明器具の保証期間は、製品お買い上げ日より1年間です。但し、蛍光灯器具・HID器具の安定器、LED電源、LEDモジュールは3年間です。 ・ランプ(LED電球含む)、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。 ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 ・取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間中に故障した場合に無償修理させていただきます。	・ご使用中に異常が生じた場合は、お使いになるのをやめ、電源を切って、お買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。 ・ご贈答品やご転居などでお買い上げの販売店(工事店)にご相談できない場合や、アフターサービスに関するご相談、ご不明点は、別紙「お客様相談窓口のご案内」各窓口までお問い合わせください。

コイズミ照明株式会社

再生紙を使用しています。

取説No. SP101-098 AD／S・T-01

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
XU39139L・XU39140L	AC100V/200V/242V	1.01A/0.51A/0.42A	100W	LED
XU39141L・XU39142L		0.81A/0.40A/0.33A	80W	
XU39143L・XU39144L		0.61A/0.30A/0.25A	60W	
XU39145L・XU39146L		0.41A/0.20A/0.17A	40W	

■施工前の確認

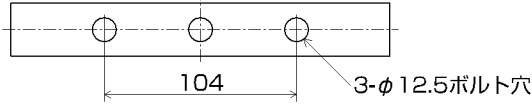
1 器具重量に耐えられるよう、取付部の強度を確保する

2 取付面が十分乾燥していることを確認する

器具や取付面の変色の原因になります。

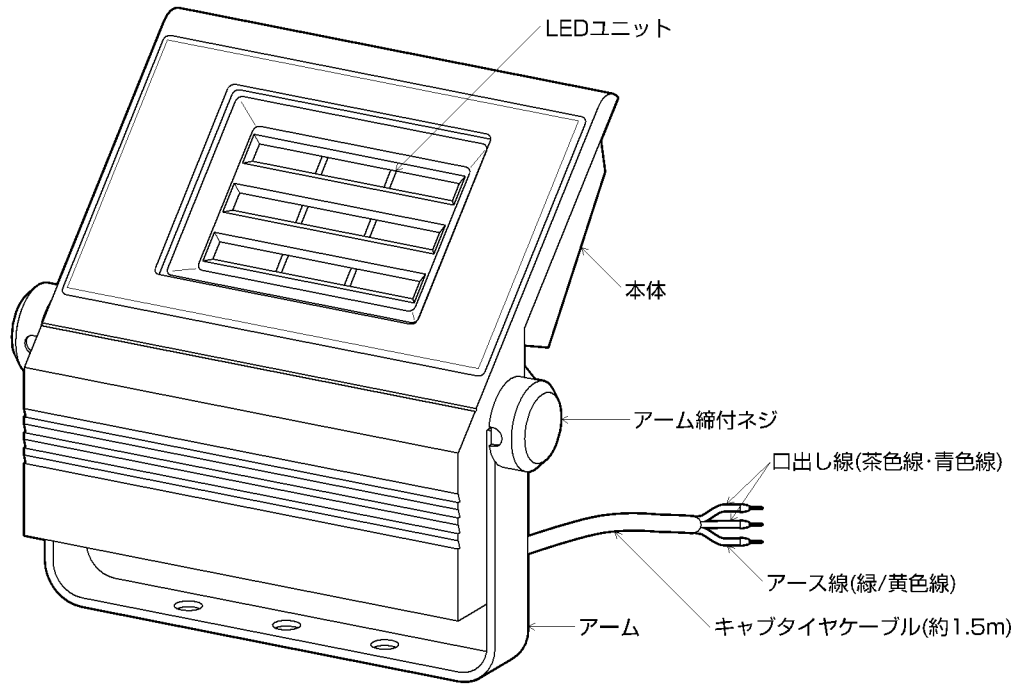
3 取付ピッチ

右図は器具を取付面から見た図です。



■施工手順 △注意 取付けの際は必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

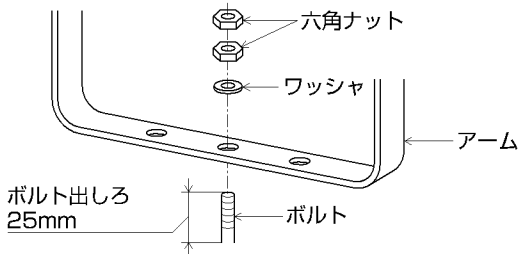
※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



1 本体を取付ける

＜ボルトに取付ける場合＞

アームにボルトを通し、ワッシャ、六角ナット(市販品)で取付ける。

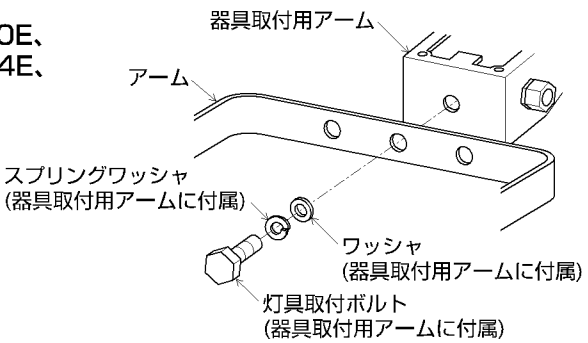


＜器具取付用アーム(別売)に取付ける場合＞

(XE39147E、XE39148E、XE39149E、XE39150E、XE39151E、XE39152E、XE39153E、XE39154E、XE39155E、XE39156E)

本体のアームを器具取付用アーム(別売)に合わせ、ワッシャ、スプリングワッシャ、灯具取付ボルト(器具取付用アームに付属)で確実に取付ける。

※灯具取付ボルトを間違えると落下によるけがの原因になります。アーム(別売)の説明書の適合ボルト表に従って確実に取付けてください。

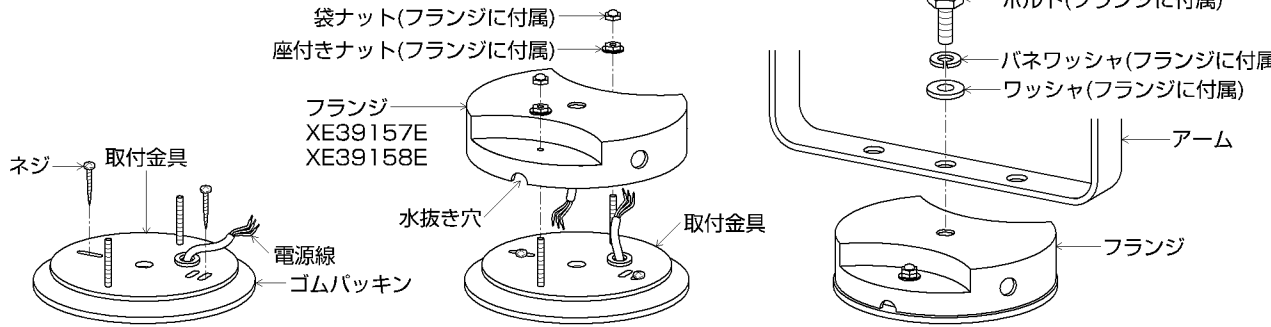


＜フランジに取付ける場合＞ (XE39157E、XE39158E)

ゴムパッキン、取付金具に電源線を通し、ネジ(市販品)で取付ける。フランジを取付金具に合わせ、座付きナット、袋ナットで取付ける。アームをフランジに合わせ、ワッシャ、バネワッシャ、ボルト(フランジに付属)で取付ける。

※電源の接続をフランジ内で行なう場合は、口出し線をフランジ内に引き込んで接続してから、フランジを取付けてください。

※壁に取付ける場合は、必ず水抜き穴を下にして取付けてください。



2 電源線を接続する

器具の口出し線(3芯キャブタイヤケーブル)に接続する配線は、クロロブレンキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するケーブルを使用し、器具からの口出し線の茶色、青色に電源を結線する。

＜推奨接続方法＞

器具の口出し線の末端にはHスリーブが付いています。
右図に示すような差込型の押しネジ式端子台(市販品)の使用を推奨します。

＜Hスリーブを使用しない場合＞

Hスリーブを使用しない場合は、Hスリーブを切断し、電線の被覆を剥き、結線を行なう。

※絶縁処理は導体部分のみではなく、シース(外被)部も含めて行なってください。不十分な場合、電線からの浸水による絶縁不良や、LED不点の原因となることがあります。

※結線には確実に絶縁処理を施してください。

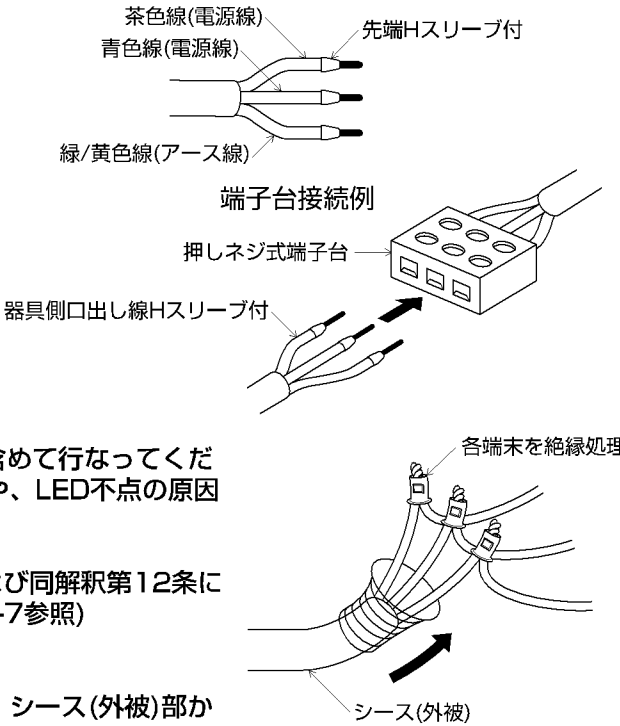
※口出し線の接続は電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条に従ってください。(具体的な接続方法：内線規程1335-7参照)

※3芯のうち緑/黄色線がアース線です。

※D種接地工事を行なう。

※自己融着テープなどにより各端末を絶縁処理した後に、シース(外被)部から絶縁処理を行なってください。

△警告 電源の接続は確実に行なってください。
接続が不完全な場合は火災・感電の原因になります。



3 点灯の確認を行なう